病　床　数　：180床
（全病棟回復期リハビリテーション病棟）
診療科目　：リハビリテーション科
院　　長　：前原 正明（心臓血管外科）
住　　所　：東京都大田区大森西4丁目14番5号

施設基準　：回復期リハビリテーション
病棟入院料1
脳血管疾患（Ⅰ）,運動器疾患（Ⅰ）
廃用症候群（Ⅰ）

<令和2年度実績>
提供単位数：8.23単位（全国平均:6.55単位）
在宅復帰率：93.9%（全国平均:79.1%）
自宅復帰率：79.1%（全国平均:66.7%）
疾患別割合：脳血管疾患　48.9 %
運動器疾患　44.5 %
廃用症候群　6.6%

グループ26病院　総病床数4，223床のノウハウを生かしたリハビリテーション
〇365日（土日祭日、お盆やお正月）のリハビリ実施
〇最大3時間（9単位）/日のリハビリ実施
〇リハビリ訓練室での「出来るADL」と、病棟での「しているADL」の一致

＜患者様の生活場面に応じたリハビリを行います＞

＜屋内だけでなく社会に復帰する為の屋外リハビリ環境を作ってます＞

＜リハビリテーション科の特徴＞
1.生活密着型早出・遅出体制
2.チーム制（階別担当制）
3.充実した新人教育
〇プリセプター制
担当指導者が指導者が教育・指導
〇新人勉強会
リスク管理・基礎勉強会・接遇研修・実技指導
4.回復期以外の分野も経験可能
〇外来・訪問・地域
5.年間を通して多くの勉強会開催
〇内部勉強会・外部講師講習会・地域勉強会

＜病院内・リハ科の取り組み＞
1.離床活動
〇積極的な離床促進に対する関わり
（調理・wii・脳トレ・自主訓練 etc）
2.生活調査
〇日中の活動量を定期的に計測
3.健康教室
〇業者を交えた患者教育 etc
4.専門的なチームによる関わり
〇NST・褥瘡・シーティング etc
5.学会参加・研究発表の推奨
〇環境・費用面のサポート体制も充実

＜研修制度＞
1.グループ病院のメリットを生かした
各年代に合わせた研修制度
〇2年目/3年目研修
〇副主任/リーダー研修
〇海外研修
（アメリカ/ドイツ/デンマークetc）
＜福利厚生＞
1.院内旅行
（国内・海外・日帰り）
2.全国にある保養所やホテル、
スポーツ施設の利用が可能

～ 理 学 療 法 ～

＜1.心身機能・身体構造に対する機能訓練＞
〇徒手療法
〇物理療法
〇装具療法　1.長・短下肢装具を利用した歩行訓練
　　2.オールインワンを利用した介助歩行　等
〇リハビリ時間以外での自主トレーニングの推奨
〇その他（wiiを利用したバランス訓練　等）

＜2. 生活場面に活かす動作訓練＞
〇病棟や院内で他部署と協力し、積極的な歩行介入
〇早出・遅出時間帯での動作訓練（歩行、排泄、更衣動作etc）

＜3. 退院後の生活を想定した活動訓練＞
〇家屋調査
〇外出訓練　1.バスや電車などの公共交通機関の利用
　　2.復職を想定した通勤訓練
〇自転車の走行訓練
〇他病院と連携したドライブシュミレーター訓練

＜4.専門チーム＞
〇装具チーム
〇栄養サポートチーム（NST）
〇シーティングチーム

＜5.総合事業：地域＞
〇健康講話・体力測定

各対象者に合わせた関わりと取り組み

＜院内の豊富な勉強会＞
〇物療勉強会
〇装具勉強会
〇マシン・機器勉強会
〇外部講師勉強会
（著名な講師を招いて年間複数回実施）

＜学会発表＞
〇日本理学療法学会
〇関東甲信越ブロック
　　理学療法士学会　等
多くの学会に積極的に参加

院内教育の充実

＜スタッフ内訳＞
〇90名（男性：54名　女性：36名）
〇平均年齢：27.6歳

＜実務経験年数＞
〇8年目以上：29名
〇5～7年目：26名
〇3～4年目：12名
〇1～2年目：23名

若いスタッフも多く在籍

スタッフ関連

～ 作 業 療 法 ～

＜各対象者に合わせた関わりと取り組み＞

1.ADL
- ○早出・遅出を利用した実生活に介入
- ○大浴場の利用（日中・夜間）
- ○自助具の作成

2.IADL
- ○1日分の（3食）調理
- ○家族と一緒に家事動作
- ○栄養士からの栄養・調理指導
- ○自宅で家事動作・買い物訓練

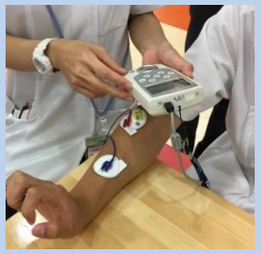
3.復職や家庭内役割
- ○職場訪問
- ○屋上庭園での栽培
- ○仮技能訓練（大工：本棚）

4.趣味や参加機会
- ○夜間の歩行
- ○化粧
- ○趣味活動
- （ピアノ・写真撮影 等）

対象者の必要性や意味のある作業に対する介入

＜OT独自の勉強会＞

- ○院内勉強会
  - 高次脳機能評価と解釈
- ○外部講師勉強会
  - （MOHO・自動車運転　等）
- ○生活行為向上マネジメント履修推奨
- ○IVES導入



＜学会発表＞

- ○日本作業療法学会
- ○日本作業行動学会　等

多くの学会に積極的に参加

院内教育の充実

＜地域との取り組み＞

1.復職支援
- ○近隣施設と復職に向けた関わり
- ○職場への訪問・動作指導

2.大田区高次脳機能障害者連絡会
- ○高次脳機能障害に対する
  - 支援施設・サービスの紹介

3.近隣大学との共同研究
- ○上肢訓練機器使用における効果

4.運転支援（ドライブシュミレーター）

5.美容学校と連携した化粧療法
- ○化粧の実践

6.総合事業
- ○地域住民の銭湯利用にむけて
- ○地域ケア会議

院内における多様な取り組み

＜スタッフ内訳＞

- ○57名（男性：32名　女性：25名）
- ○平均年齢：26.3歳

＜実務経験年数＞

- ○10年目以上：6名
- ○6～9年目：　10名
- ○3～5年目：　24名
- ○1～2年目：　17名

若いスタッフも多く在籍

スタッフ関連

～言語聴覚療法～

＜STの介入対象＞
〇脳血管障害： 約98%
　廃用症候群などその他の疾患： 約2%
〇訓練領域(成人)
　高次脳機能障害・失語症:40～50%
　嚥下障害:50～60%
＜幅広い領域の経験が可能＞
〇入院・外来・訪問リハへの従事が可能
〇VE・VFの実施(近隣の急性期と連携)
〇多職種との協業
　1.食事場面で複数の療法士と介入
　（例:先輩ST・担当のPTやOT）
　2.家屋調査への同行
　3.外出訓練の実施(高次脳機能障害の方への介入)
　4.復職への関わり(職場訪問など)

対象疾患と多様な取り組み

【失語症検査】
SLTA　WAB　SALA トークン　構文検査　SALA　CADL　など
【高次脳機能検査】
CAT　RBMT　WMS-R　BDAS　BIT　高次視知覚検査
高次脳バランサー　など
【構音検査】AMSD　構音検査　など
【嚥下検査】舌圧測定器:最大舌圧の測定
【物理療法】
バイタルスティム(低周波治療器)
:顔面・舌骨上下筋群の筋力増強
ジェントルスティム(干渉電流型低周波治療器):嚥下反射誘発

充実した検査物品

＜充実した教育体制＞
〇各検査の指導
（直接指導・動画を使用した指導）
〇各物療機器や検査機器の操作方法指導
〇チェックリストを使用した包括的な指導

新人教育

① 男女別人数 :男性 4名、女性 16名 計20名
② 実務経験年数
21年目:1名　14年目:1名　10年目:2名　7年目:1名
6年目:1名　5年目:6名　4年目:1名　2年目:1名
1年目:6名

スタッフ関連

新人教育年間スケジュール

＊リハ科勉強会（1～2回/月）、各チーム症例検討会（1回/月）、グループ・院内講演会（1～2回/月）等が随時あり
＊業務時間外の勉強会、各種イベント活動等はいずれも任意参加

※●はイベント

新人研修期間

4月
- ●新人オリエンテーション
- ●接遇研修
- ●リスク管理研修
- ●リハ基礎研修
- ●マニュアル研修
- ●臨床見学
- ●新人歓迎会

5月
- ●医療安全講習
- ●リハ基礎研修
- ●他職種研修

6月
- ●感染対策講習
- ●新人到達目標チェック・プリセプターフィードバック
- ●職員面談

7月
- ●症例検討会（新人担当分）
- ●帝国ホテル 大懇親会

8月
- ●症例検討会（新人担当分）

9月
- ●グループ合同学術研究会

10月
- ●グループスポーツ大会

11月
- ●職員面談
- ●院内旅行（3～4か月に渡って10コース程度）

12月

1月
- ●新年会（病院全体）

2月

3月
- ●業務到達度チェック・プリセプターおよび役職者フィードバック

当施設でのキャリアロードマップ

Career UP

6年目以上	●地域における病院の役割を理解し、外部との調整や活動を行う
4・5年目	●リハ科内のチームにおいてリーダーシップを発揮する ●チームのリーダーとして他部署との調整を行う
3年目	●チーム医療の中で、リハ専門職種として中心的な役割を果たす ●自己研鑽を深め、後輩に対する指導・助言を積極的に行う
2年目	●知識・技術の研鑽に努め、職業人としての能力向上を図る ●チーム医療における自己の役割を果たし、後輩に対して指導・助言をする
1年目	●職業人として、社会人として規律を守り、協調して業務を遂行する ●基本的なリハビリテーション医療の知識・技術を身につける

※写真は小金井リハビリテーション病院

当グループリハビリテーション科の特徴

開放的なリハ室

歴史のある大型法人ならではのグループのノウハウを生かした病院づくり

カンファレンス

応用動作訓練

恵まれたハード
（患者様の療養環境を考えた設計・デザイン）

病棟チーム担当制での密な関わり
（情報共有、カンファレンス、回診、合同勉強会等）

シュミレーションルーム

積極的な屋外リハ活動、応用的活動、訪問家屋調査、ご家族への関わり

充実した教育制度
（入職時研修・経験に合わせたスキルアップ研修・外部講師講演会・症例検討会　等）

超急性期から在宅までをつなぐ連携意識
（営業活動及び退院後のケア・地域との関わり）

屋外活動訓練

365日リハを行える体制

離床活動（病棟活動）等で不必要な安静を排除すべく全職種で協力して活動

離床活動

屋外でのリハ

1日最大3時間、1日複数回のリハ提供

露天風呂

新入職スタッフからのコメント

PT：女性（福岡県出身）
「スタッフの方々の雰囲気の良さと患者さんの笑顔の数がすごく多いと感じたからです。」

OT：女性（茨城県出身）
「人数が多く教育制度もあり、他職種間・患者様とスタッフ間の雰囲気がよかったからです。」

ST：女性（神奈川県出身）
「STの人数が多く、心強いと思ったからです。」

入職した動機

PT：男性（福岡県出身）
「先輩やプリセプター（担当指導者）とも気軽に報告・連絡・相談が出来るので働きやすいです。」

OT：男性（神奈川県出身）
「先輩と相談等話しやすい環境で、入職できて良かったです。」

ST：女性（宮城県出身）
「雰囲気が明るく、職種関係なく困っていると声をかけてもらえるので、とても働きやすいです」

入職してみて

OT：男性（東京都出身）
「知識・技術共に身に付けつつ、業務も早く覚えて、1スタッフとして積極的に行動していきたいです。」

ST：女性（群馬県出身）
「早く業務を覚えて、患者様の気持ちに寄り添うことができるように精一杯努力していきたいです」

今後の目標